

老いても安心して暮らせるまち榎本。目指すのは『ふるさと榎本』の実現。

お一人ひとりの暮らしの中で大事なものはなんだろうとこれからも一緒に探し求めていきます

みつるぎだより



「ただの日常」の笑顔が
愛おしくて…

みつるぎな日々!
今日もいい日だ「喜笑愛楽」

発行：小規模多機能型居宅介護『みつるぎの里』
大阪市鶴見区今津中 1-9-32（榎本福祉会館 2 階）

TEL:06-6955-9044

<https://www.egao-ageruyo.com/>

NPO 法人榎本地域活動協議会



春～夏・季節の思い出



見上げる目 むかしに還る 花火かな

暑い夏をもっと熱く!!心
はずむ盆踊り。踊ったり
笑ったり、食べたり、見上
げたり…あ、花火
皆で同じ
空見上げて
幸せ! また来夏も
皆んなで楽しみ
ましょうね😊

喫茶店へGo! この日のおやつタイムは
好みのパンケーキやドリンクを選んでも
ぐもぐ。食後には満面の笑みで
「こんな大人数
で食べたの、何
十年ぶりやろ。
楽しかった!!!」
と大喜びの巻



やっぱりミックスジュースやで



それぞれのペースで

みつるぎニ大ブーム

その1: いっちゃんの
ネイルサロン! 心踊る乙
女たちはオシャレに興じ
て花盛り🌸

その2: 制作のテーマは
「花火」。でも、いつのま
にか、ケセランパサラン
青ちゃんが大量発生。愛
しいケセランパサラン💖



乙女ポーズでバチリ!



頭に「幸福」乗った!

父の日・母の日・七夕



いっちゃんのネイルサロン💖



番外：職員と
お勉強📖



開設時出資金返還報告

この度、みつるぎの里開設時出資金を全額
お返しすることができました。十周年の節目に
返還が叶いましたこと、皆さまのご厚情のお陰
と重ねて深謝申し上げますと共に、今後ともご
指導・鞭撻の程どうぞよろしくお願いします。



お父さんお母さん感謝の日



願い事はヒミツ

多彩なみつるぎの里スタッフ インタビューを元に順に紹介!③



◆島田 一穂です◆

5年後……お年寄りに、ためら
うことなく手を貸す子ども。子
どもに、穏やかな愛を注ぐお年寄り。
そんな風景が榎本の街角に溢れ
たらいいな。「助け合う」そんな言
葉さえ口にすることなく、自然に
混ざり合う。そんな日常の中で、頼りになる私でありたい。

この 4 月から、常勤の介護職員になった。お年寄り
との関わり方に何の変わりもないけれど、「安心して過
せるみつるぎ」を目指す気持ちには、『責任』が乗った。
ご利用者にとって一番大切なものは何か。絶えず寄り添
い、言葉にできない声を拾い上げ、その実現を目指す。
簡単なことばかりではないけれど、自分らしい工夫を重ね
ることは楽しく、そして何より、学びが多い。

みつるぎで働く母の助けになればと入った、この世界。
「素晴らしい仕事」と思えたのは、自分の感性とマッチし
たから。「それ、何で? 何のため?」そんな疑問にも、い
つも答えを返してくれる仲間たちがいる。

そして、「女はいつだってオシャレしたいやん!」と
いう『信念』から始めたネイル。お一人おひとりに好き
な色を選んでもらい、一本ずつ綺麗に染まっていく指先
を眺めるその顔は、自然にキラキラと輝き始めた。「これ
や。こういうことや」そう思った。嬉しかった。

嫉妬するほどの「感性」を持ち絶えず私を刺激する。ちょっ
と気弱なところも、彼女の魅力。生粋の榎本っ子で、今は小学
校の PTA も担う。いつか地域を「まるっと」つなぐ、私たちが
目指す「地域が作ったみつるぎの里」へのステップを、さらに
進めてくれるに違いない。(彌重管理者)

ご家族の声Ⅶ

前田 朱美 さん

(ヒサエさんの娘さま)



みつるぎの里を卒業された
ご利用者のご家族のお手紙より抜粋

**母らしく過ごせた日々へ寄せて
～新たな暮らしへの一歩～**

「母らしく居られる場所が、みつるぎさんなのだ」と確信しながらも転居のため、みつるぎを離れることになりました。今も寂しさを感じています。

前日、母は自宅でゆっくり眠り、朝はいつものようにコメダへ。イズミヤにも行こうかと話していました。そんな日常から、新しい場所へと母を送り出した帰り道、私は涙が止まりませんでした。

新しい施設で説明を受けていた時、母がふと「あんたが決めていい」と言いました。何かわかっているかのような言葉でした。先に4階へ上がった母を追ってフロアへ行くと、少し困ったような顔をしていました。見慣れない人たちばかりで、不安だったのだと思います。置かれた場所に居るしかないと思っ

ているようにも見え、私が心配しないように、おどけてみせる母の姿がありました。

午後、もう一度面会に行き、帰る際に職員さんが「可愛いお母さんやね」と声をかけてくださいました。少し心はほぐれましたが、また涙が滲みしました。

転居にあたり、いくつかの施設を見学しました。それぞれに役割があり、働く方々のご苦労もあるのだと思います。その中で改めて、みつるぎで母が周りの方々に見守られながら、母らしく過ごせていたことのありがたさを感じています。

これまで母と家族に寄り添ってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

なぜ、ここ榎本にみつるぎの里が必要なのか

管理者・彌重卓志がひもとく！

みつるぎの里・その使命 Vol.16

『モヤモヤを楽しむ』

今、みつるぎの里では「問い続けること」の大切さを職員に伝えています。ケアの現場には、答えの出ないことがたくさんあります。



「これで良かったんやろか？」

「あの人は本当はどうしたかったんやろ？」

「もっと違う関わり方があったんちゃうやろか？」

答えが出ないと、人は不安になります。だから、何かしらの答えを出して安心したくなる。「こういう人だから」「認知症だから」「安全のためだから」と理由をつければ、そのモヤモヤから抜け出すこともできます。でも、みつるぎの職員は、そのモヤモヤを簡単に手放さない人であって欲しいと思っています。

分からないことを、分からないまま持っておく。「なんでやろ？」と考えながら、その人と付き合い続ける。すぐに答えを出さず、時には職員同士で「あれ、どういうことやったんやろな」と語り合い、また明日その人に会う。

私は、この「モヤモヤを楽しめる力」が、みつるぎの里の三原則のひとつ「居合わせる」ことにつながっていくのではないかと思います。

「何とかしてあげなければならない」「答えを出さなければならない」ーそんな力みがなくなった時、ただその人の隣にいて、一緒に笑ったり、困ったり、考えたりできる。答えを出すために、そばにいないのではない。分からないからこそ、そばにいます。モヤモヤは、ケアがうまくいっていない証拠ではない。その人のことを、まだ分かろうとしている証なのかもしれません。

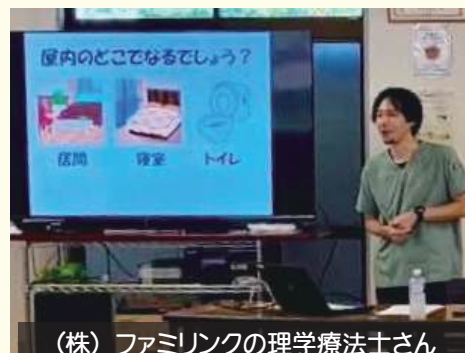
だから、みつるぎでは「モヤモヤを楽しむ」。

**問いを持ったまま、その人と丁寧に
付き合い続けていきたいと思っています。**

ころばん教室開催！

7/9・8/13・9/10 の3ヶ月連続
「転ばない身体とつながり作り」

榎本のアクティブシニア集合！
タイムリーな内容の座学から始まり
体操、そしてつながりタイム



(株) ファミリンクの理学療法士さん

係長のつづやき (17)

**楽しませてもらったらいじゃん。
介護係長・米山 卓**



私にはこれといった趣味がありません。一つのことにと造詣が深い人に、私は憧れを抱きがちです。趣味というから、構えてしまうのかもしれない。自分の好きなものをあげてみよう。

――映画、本、コーヒー、音楽、野球、甘酒、お酒、森林浴、旅行先での朝の散歩、怪談、チャンチャ、雑貨屋さん、気持ち悪い絵を描くこと、マッサージ、サウナ、温泉、温泉ステッカー

集め、そば、緑茶、パン、夕暮れ、滝、街歩き、古着屋、喫茶店――考えたらまだまだ出てきそう。自分がつまらない人間だと思う日があっても、この世の中には面白いことがたくさん用意されている

と改めて思う。だから自分が無理に面白い人間にならなくてもよいのではないだろうか。・・・今回もつづやいたなあ...

小規模多機能型居宅介護

みつるぎの里



**介護
あるある！**

▶普段や介護の生活から「それ、あるある!!」を
公益社団法人全国有料老人ホーム協会の過去の
シルバー川柳入賞作品を引用してご紹介しします!!

- 高齢者 前期後期の 次末期
- タブレット 使えず回る 寿司見つめ
- 定年後 悠々自適は 妻でした
- よく喋る 家電と妻に 囲まれる
- クマ注意 ワシは絶対 ツマ注意

